

議長を除く11名の委員で、令和4年度補正予算、令和5年度予算を審査しました。

令和4年度補正予算

一般会計

〔歳入〕

個人・法人町民税の増額の要因は。

個人について、懸念された所得等の大幅な減少は見られず、法人税についても観光、建設業、小売業の収益が改善、増加したことから増額補正となった。

〔使用料及び手数料〕

総合体育館駐車場使用料の増額内容は。

スキー場の臨時駐車場としてカメリーナ及び学びいの駐車場の貸したため。

〔国庫支出金〕

住民税非課税世帯に対する臨時特別給付事業補助金は、世帯数を把握し予算措置をしたと思うが、1440万円と大きく減額となった理由は。

家計急変世帯も合わせて1840世帯の予算措置をしたが、288世帯が申請しなかった。扶養になっていて対象にならないケース、辞退や死亡等があった。

〔歳出〕

〔民生費〕

子育て世帯に対する原油価格・物価高騰対策支援事業及び出産手当の減額内訳は。

子育て世帯に対する支援事業は1800人を見込んでいたが、1666人となった。

出産手当は、68人の見込みが49人の見込みとなった。

〔衛生費〕

予防費の委託料の大きい減額の要因は。

風しん追加対策の抗体検査事業で受検率が15・6%であったため減額。

定期予防接種（風しん、2種混合、BCG等）やインフルエンザ予防接種も見込みより減となった。

〔農林水産業費〕

農業振興費の減額は。

集落営農活性化プロジェクト促進事業で約127万円、燃油高騰対策支援金が約242万円、未来の夢たい肥活用による農産物の高品質化事業で約151万円、それぞれ減となった。

〔商工費〕

町民応援商品券交付事業の実績は。

第1弾、第2弾と実施し、1人5千円で交付した。第1弾は換金率が98・42%、交付済人数が1万3266人。未交付が134人となった。



町民応援商品券

風評被害対策費1200万円の減額内訳は。

ふくしまゲレンデ逆走マラソンが中止で70万円の減。いなわしろ花火大会で1200万円ほど予算措置していたが、コロナの影響と協賛金が厳しいこと等の理由により中止と判断した。

〔土木費〕

都市計画道路猪苗代翁島線が中止とあるが、内容は。

地権者等と用地交渉や、地区説明会も実施し、大多数の方が事業に賛成いただいたが、一部賛成が得られず、測量設計委託の発注まで至らなかった。事業の中止ではないので引き続き実現に向け努力する。

〔消防費〕

中町地内配水管布設替え工事の年度内完了見込みは。

コロナ流行等で作業員の確保が出来ず年度内完了が出来ないため次年度へ繰越す。



中町地内の工事状況

〔教育費〕

統合中学校整備事業費工事請負費が4511万円減の内容は。

必要な追加工事もなく、今年度の工事の支払金額が確定したため。

こども園幼稚園教育研究協議会退会の理由は。

活動が低迷しており、十分な研修等ができないため退会した。園独自の研修をしたほうが、成果が見込めると判断となった。

令和5年度予算

一般会計

〔歳入〕

〔地方交付税〕

6千万円増額の要因は。国の地方財政計画の出口ベースで、前年度比1・7%の予算計上がされている。

〔使用料及び手数料〕

優良堆肥製造施設使用料の内容は。①堆肥の散布手数料②事業系生ごみの処理手数料③事業生ごみの分別収集のモデル事業に関する手数料。

〔歳出〕

〔総務費〕

電算管理費の8千万円以上の増額の内容は。

新たな業務委託として財務会計文書管理システム機器更新、情報セキュリティ強化対策ネットワーク更新、財務会計システムインボイス制度対応改修業務など。

地域おこし協力隊は満期で退任する方もいるが、新規採用分も含まれるか。

8名で計上している。2名が年度途中で退任となるが、改めて2名の募集を予定している。



地域おこし協力隊活動報告会の動画

〔民生費〕

老人福祉費の増額の根拠は。

敬老祝金、福祉タクシー購入助成、介護職員の初任給・実務者研修に係る補助金、老人福祉センタートイレ改修工事、介護保険特別会計への繰出金で増額となっている。

児童福祉総務費の扶助費の内訳は。

出産手当55人、重度心身障害児童扶養手当52人を見込んでいる。

〔衛生費〕

町立病院関係の負担金の内容は。

電子カルテシステムの更新と、平成21年度開院時に整備したベッド65台のうち20台分の更新のため。

予防費で前年度比1億円以上の増額計上の要因は。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について令和4年度においては、3年度からの繰越があり、事務費のみの計上であった。5年度は一人1回の接種で約1億2千万円計上している。

〔農林水産業費〕

猪苗代町ポータルサイト業務委託の内容は。

ブランド化を推進してきた、米とそばの国内外からの問い合わせに対応するため、ポータルサイトを立ち上げる。



携帯端末で購入、利用可能な電子クーポン

〔土木費〕

道路維持費、前年比5千万円増額計上の積算根拠は。

道路メンテナンス事業費の工事請負費で約2千万円、道路除雪費の民間除雪業務委託料で1200万円、防雪柵設置撤去業務委託で約800万円それぞれ増となっている。

道路新設改良費5100万円の増額計上の要因は。

町道堅田五百苧線流雪溝整備工事で、前年度比で近い予算計上とした。



早期の完了が望まれる

町道白木城北線道路改良工事の完了予定は。

予算の都合もあるが、希望としては2年ほどで完成させたい。

空家対策費は前年比で100万円増だが、対象の空き家は確定しているのか。

2件の相談があり、その他1軒は柔軟に対応するために予算化。所有者と調整し早期に対応したい。

〔消防費〕

防災費で5754万1千円の増額根拠は。

平成20年に導入した防災無線の操作卓の更新。推奨更新時期である10年を経過しているため、更新し災害に備える。



日本陸上競技連盟3種公認の町陸上競技場